

普及センターだより

第63号 平成30年2月22日発行



伝統のブランド産地 長岡京花菜部会 旬の美味しさを届け続ける

3年間の普及 活動の概要と成果

普及センターが平成27年度から重点的に取り組んできた4つの柱（重点課題）の概要と成果をご紹介します。

◆就農支援

多様な就農形態にあった就農者への支援

管内の新規就農者は、農家子弟の親元就農、農外からの独立自営、法人や農家への雇用就農等就農形態は多様です。また、栽培技術習得が必要な方、経営目標の明確化が必要な方、経営能力向上や販路開拓を望む方等、経営発展段階も様々です。普及センターでは段階に応じて、農業経営者としての定着と経営発展を支援しました。



▲平成28年度第4回農業経営講座「模擬商談会」：サポーターの先生の指導で販売作戦を練る

- ①就農後概ね3年までの方々を対象に農業基礎講座を開講し、基礎技術の講義や先進農家視察を行いました。「基礎知識が学べた」「農家の工夫が参考になった」と好評でした。また交流会を設定したことで、受講生同士のつながりができました。
- ②経営目標の明確化が必要な方に対し、個別巡回を行い経営目標をたて、達成できるように支援しました。
- ③経営能力向上や販路開拓を目指す方を対象に、京都府農業総合支援センターと連携して農業経営講座を開催しました。経営向上計画を立て、商談会シートを作成して商談会に臨みました。販路獲得等経営発展のきっかけとなりました。
- ④経営向上を目指す方を重点対象者と位置づけ、関係機関で組織する京都乙訓地域農業応援隊のメンバーが訪問して課題を明らかにし、目標達成できるよう支援しました。

◆京の米で京の酒を！

京都府オリジナル酒米の生産支援

近年、京都府オリジナルの酒造好適米「祝」と酒造原料米「京の輝き」が注目され、京都酒米振興プロジェクト京都乙訓部会（JA、市町、府で構成）が平成26年3月に結成されました。

普及センターでは、「祝」及び「京の輝き」ほ場で基肥一発型肥料による省力技術の実証ほを設置し、「京の輝き」では有効な技術として、各地で普及しています。また、収量安定と品質向上のため、技術情報を毎月1回発信し、個別巡回指導を行いました。

中丹や丹後で開催された京都府酒米生産者大会は、酒米の優良事例発表、産地見学会、農林センターからの試験報告、酒米共励会の表彰式、酒造メーカーとの交流等、収量及び品質向上の内容で開催され、積極的な参加支援を行ってきました。平成28年～29年度には部会独自の「京の米で京の酒を」の啓発資材（ステッカーとマグネットシート）を農業者や関係者に配布してその活用を図りました。

また、今年度は京北、洛南、大原野で現地研修会を開催し、酒米栽培管理指導と鳥獣害対策等を支援してきました。

京都乙訓地域には20以上の多くの酒蔵があり、酒蔵と生産者が企画した酒米づくり体験は、平成29年度は、大原野、洛南、向島、嵯峨等で開催されましたので、関係機関と一緒に今後の酒米産地形成に繋がるよう消費者と生産者を結ぶ産消活動を支援しています。



▲「祝」現地酒米研修会（洛南地域）

◆野菜生産等の支援

主要野菜品目の生産振興と収益の向上

【ネギ】病虫害対策と出荷指標の提示による有利販売の支援

- 難防除病虫害対策について、調査ほを設置し、継続調査を行いました。特に、赤色ネットの導入は、低コストで高い防除効果（ネギえそ条斑病、ネギアザミウマ）が認められました。
- 市場単価のアップを図るため、青果市場の調査により、実需者の要望に応じた出荷指標の提供を行いました。



【ナス】うどんこ病の効果的な農薬確認と天敵等に配慮した農薬ローテーション情報の提供

- うどんこ病対策では、効果的な薬剤を確認し、ローテーション散布情報を提供しました。
- 天敵温存作物（オクラ）の導入効果や天敵に配慮した薬剤の情報を提供し、天敵にやさしい農薬が優先して使用されました。
- 難防除害虫（カスミカメムシ類）の発生消長等の調査により効果的な防除方法を提供しました。

【花菜】長岡京市内での根こぶ病防除対策と花菜部会女性部（花華の会）の活動支援

- 根こぶ病対策では、発病ほ場ごとに菌密度を測定し、発病レベルに応じた処方箋を提供しました。また、こぶ減り作物の調査ほを設置し、防除効果の確認と情報提供を行いました。
- 長岡京花菜部会女性部（花華の会）では、聞き取り調査による活動テーマの設定と研修会（花菜出荷作業改善）を行いました。

【七草】計画的な出荷数量の達成への生産支援

- 北区の生産者を対象に、技術情報の提供やほ場互見会の開催等により、契約数量を達成しました。実需者からは、「鮮度が良好で消費者からも好評」との評価を得ています。

【経営】ネギ、ナス、トマトの経営調査及びモデル指標の作成と提示

- 農業基礎講座の受講生や各生産組織等に提示し、今後の経営アップの参考としました。

◆消費者へ魅力発信

消費者への農業・農村の魅力発信と地産地消の推進

管内は市街化が進んでいます。農家の方々が生き生きと活動して自分たちの農業をアピールし、地域の消費者に農業への関心や理解を更に高めていただくため、4つの取組を進めました。

1つ目は地域に点在する小さな農産物直売所を対象に農薬安全使用や、品揃えのポイントなどの講義や現地研修を通じて、これまで以上に「買いたくなる直売所」となることを目指しました。また、受講された直売所が相互に情報交換や相談が出来るネットワークができました。

2つ目は京北地域において、味噌づくりや納豆餅づくり体験講座を通じて消費者との交流を図るとともに、加工品のパッケージ改良や販路拡大に取り組み、地域や特産品のPRを進めました。

3つ目は食育活動です。乙訓地域の企業食堂で、「もっと野菜を食べよう」キャンペーンを関係機関と実施しました。その際、地元産野菜を料理に使い、地域の農業のPRも行いました。また、農産物の加工や郷土料理に詳しい京都市生活研究グループ連絡協議会の皆さん28名が「きょうと食いく先生」の認定を受け、消費者を対象に食育活動を始めました。



4つ目は、自家の農産物の良さを活かした加工品の製造や販売という6次産業化に取り組む農家を対象に、原料生産、加工品の改良、販路拡大等それぞれが抱える課題の解決に向けて京都乙訓地域農業応援隊の協力を得ながら支援しました。

「頼れる農業士さん」

池田 徳治さん（京都市北区）

地域農業に配慮した生産、販売活動の展開を目指して

北区上賀茂地域で、春から夏にかけてはトマトやトウガラシ等の施設栽培、秋から冬にかけてはすぐき菜栽培と漬け込み作業をされています。

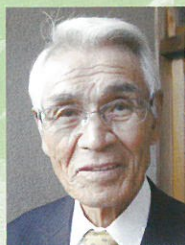
地域では、京都市農協上賀茂支部長を兼任され、地域全体の農業生産や販売活動等に対して支援をされています。

上賀茂地域の特徴は、振り売りや契約出荷など販売方法が多様で、後継者が多く育っていることです。一方、ほ場の周囲は住宅地と隣り合わせで、住民との距離が近い関係にあります。そのため、住民との良好な関係が必要で、生産者には安心安全な農産物生産、販売等に関わる情報提供を心掛けておられます。

また、近年の天候不順により、農作物が栽培しにくい状況になっています。この点でも、支部主催の勉強会等により、湿害や病害虫の対策を学び、栽培しやすい環境づくりに努めたいと考えておられます。



平成29年度 京都府農山漁村伝承優秀技能認定「農の匠」の紹介



音川 次清さん
（京都市左京区）

堀川ごぼう高品質栽培

音川さんは、京の伝統野菜「堀川ごぼう」の栽培を60年以上続ける中で、連作障害回避のための輪作体系や良質堆肥の投入と排水対策を基本とした肥培管理技術等により、「堀川ごぼう」の高品質生産技術を確立されました。



村田 治夫さん
（京都市南区）

九条ねぎ生産技術

村田さんは、仮植した「九条ねぎ」を一旦掘上げ、干した後に再度定植する伝統的栽培法の継承と自家採種による種子保存に加え、赤色防虫ネット等の最新技術を積極的に導入し高品質な九条ねぎ生産に専心されました。



柴田 光貢さん
（向日市）

京たけのこの伝統的生産

柴田さんは、「京たけのこ」の京都市軟化栽培技術の実践者として、敷きわらや土入れ、独自のかん水技術等により、白くて柔らかく、えぐ味のない高品質生産と流通対策に尽力し、京たけのこの生産振興に貢献されました。

平成29年度京都府農山漁村伝承技能登録

田口 義藏さん	（京都大原の赤しそ栽培、京都市左京区）
山田 良介さん	（こだわり鶏卵の生産、京都市左京区）
田鶴 隆司さん	（すぐき漬け、京都市北区）
大西 恒治さん	（花き（ほおずき等）栽培、京都市右京区）
村山 和克さん	（京こかぶの周年栽培、京都市右京区）
久保 益子さん	（伝統農産加工（鮎めし）、京都市右京区）
高林加代子さん	（伝統農産加工（納豆もち）、京都市右京区）
仲坂よし子さん	（伝統農産加工（ゴリの佃煮）、京都市右京区）
銭谷 武志さん	（伝統の金時にんじん栽培、京都市南区）
山口 勝己さん	（わら細工、京都市南区）
山本 一夫さん	（京うど栽培、京都市伏見区）
林 種男さん	（九条ねぎの周年栽培、京都市伏見区）
月本 誠一さん	（花き（花木）栽培、京都市伏見区）
中井 治美さん	（葎の葉のちまきづくり、京都市伏見区）
森山 茂さん	（多品目野菜栽培、向日市）
高橋 茂子さん	（たけのこ水煮びん詰め加工、長岡京市）
西村 正雄さん	（京たけのこの伝統的栽培、大山崎町）

新任の農業士さん よろしくお願ひします

〈女性農業士〉



すきの よしこ
秋野 佳子さん
（京都市山科区）

〈青年農業士〉



ぜにたに ひろし
銭谷 裕志さん
（京都市南区）

発行 京都府京都乙訓農業改良普及センター

〒615-0846 京都市右京区西京極徳大寺団子田町15

TEL 075-315-2906 FAX 075-315-2909

<http://www.pref.kyoto.jp/kyotootokuni-f/>

平成30年2月22日発行